

# Mitsui Fudosan 三井不動産 Story

幸せはどこからはじまるのだろう。  
子供の笑い声を聞きながらふと思った。

日本橋のビルのなかに保育所がある。  
この街で働くひとたちも利用できるひらかれた施設だ。  
子供は素直だ。  
いい場所にいると元気になる。  
帰るときにここの子供たちは  
警備員さんとハイタッチする。  
その瞬間を見ると大人はみんな笑顔になる。  
大人のその笑顔に子供たちは安心する。  
安心した子供はきっと素直になる。  
子供の素直さは大人に忘れてはいけない  
大切なものを思い出させる。  
警備員室にはその子供たちがくれた  
折り紙が飾ってある。  
その折り紙を見ながらそんなことを思った。

いい街って、なんだろう。  
街には大人もいる。子供もいる。  
様々な価値観がある。  
すべてのひとが過ごしやすい環境をつくれたら  
きっとそれがいい街なのだと思う。  
だから、お互いがお互いの違いを認めることができたら  
きっとそれがいい街づくりの始まりになるのだろう。  
街づくりをそういうところから考える。  
そんな会社があってもいいと思う。  
私たちが作っているのは世界なのだから。  
笑顔であふれる世界なのだから。

いい街には、物語がある。

